

鎌ヶ谷市 事務事業評価表（簡易評価表）

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
1	一般	10	1	3	132生きる力を育てる 義務教育の充実	教育事務に要する経費			①学校の記念行事への負担金補助や卒業記念品の贈呈を行っている。 ②児童・生徒にとって良い記念となるように、今後も継続して実施する。	2,053	1,347	6精査・検 証	①補助の内容等妥当性について、継続して検証する必要がある。 ②児童・生徒のニーズをふまえ、卒業記念品に関して検討する。	3,166
2	一般	10	2	1	132生きる力を育てる 義務教育の充実	小学校の管理運営に要する経費			①良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。 ②学校の施設や備品等の老朽化が著しく、適切な対応が求められている。	209,591	213,460	6精査・検 証	①引き続き、適切な教育環境を維持していく必要がある。 ②学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。	232,289
3	一般	10	2	1	132生きる力を育てる 義務教育の充実	義務教育施設維持補修事業	○	○	①老朽化した施設、設備等について、計画的に施設改修を行い、学習環境の向上を図る。 ②施設の老朽化に伴い、事業の進捗ペースを速める必要がある。	231,536	632,826	6精査・検 証	①施設の老朽化に伴い、改修ペースを前倒しする必要がある。 ②小学校のトイレ改修工事、道野辺小学校の外壁屋上改修工事の際に、建具等附帯設備の改修を行う。	804,466
4	一般	10	2	2	132生きる力を育てる 義務教育の充実	小学校の図書に要する経費			①学校図書館図書標準を達成できるよう、計画的かつ継続的に学校図書館用の図書を購入する。 ②全校に図書司書を配置し、蔵書の整備を進めているが、全小学校の図書館図書標準は達成していない。	7,838	7,848	6精査・検 証	①学校図書館図書標準を達成しておらず、図書を充実させる必要がある。 ②学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全小学校において図書館図書標準を達成する。	9,557
5	一般	10	3	1	132生きる力を育てる 義務教育の充実	中学校の管理運営に要する経費			①良好な教育環境とするため、学校施設の適切な維持管理を行う。 ②学校の施設や備品等の老朽化が著しく、適切な対応が求められている。	144,497	146,494	6精査・検 証	①引き続き、適切な教育環境を維持していく必要がある。 ②学習環境の質を落とすことなく維持するため、時宜を捉えた対応を行う。	153,525
6	一般	10	3	2	132生きる力を育てる 義務教育の充実	中学校の図書に要する経費			①学校図書館図書標準を達成できるよう、計画的かつ継続的に学校図書館用の図書を購入する。 ②全校に図書司書を配置し、蔵書の整備を進め、30年度に全中学校の図書館図書標準は達成したが、今後もこれを継続していく必要がある。	6,965	6,972	6精査・検 証	①引き続き、図書を充実させる必要がある。 ②学校図書館の有効活用を図り、児童・生徒の読書意欲を高めるため、全中学校における図書館図書標準100%を継続していく。	6,975
7	一般	10	3	1	132生きる力を育てる 義務教育の充実	義務教育施設楽器更新事業	○	○	①小中学校において、購入から年数が経過し、老朽化が進んでいる楽器の更新を行う。 ②学校施設における楽器については老朽化が著しいことから、計画的に更新を行っていく必要がある。	0	4,234	7拡充	①引き続き、計画的に更新していく必要がある。 ③1年度は、小学校9校の楽器更新を行うとともに、全小中学校のグランドピアノについて、リース方式により更新を行う。	11,804
8	一般	10	1	3	132生きる力を育てる 義務教育の充実	外国語指導助手に要する経費			①外国青年を招致して中学校の外国語教育の充実を図るとともに、小学校の外国語活動などを通して、日本と外国の相互理解と国際化を進める。また、外国の文化に触れることを通して、国際社会に生きる児童生徒を育てる。 ②学級担任の教師または、外国語を担当する教師の指導力の育成。小学校教員の外国語指導力の向上を目指す。	32,902	44,042	7拡充	①教育委員会指導訪問において、小学校で外国語活動の授業展開を必ず実施し、教員及び外国語指導助手の指導力の向上を図った。 ②外国語活動支援員の配置を行い、小学校外国語教育の充実を図る。併せて担当教師、外国語指導助手合同の研修会を実施し、小学校・中学校の授業改善を図っていく。	53,716

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
9	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教職員の研修に要する経費			①市内の小中学校の教職員の資質、能力向上と専門性の確立を図るため、研修、研究の支援を行う。 ②研修、研究の内容の精査を図り、授業改善に繋げていく。	812	858	6精査・検証	①研修、研究を充実させるためには、研究経費や研修会に係る費用を支援し、質の高い研修、研究を行っていく必要がある。 ②研究指定校以外の小中学校には自主公開助成金を確保する。	933
10	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	教育指導に要する経費			①鎌ヶ谷市学力調査、学校図書館司書の全校配置、理科支援員の小学校への配置、心の教育講演会、教育相談員の配置・いじめ対策等を行う。 ②学力向上への取組、いじめ防止基本方針の推進	37,512	42,519	6精査・検証	①学力向上に向けた取組が各校で学校全体の取組として表れてきた。分析項目、方法の共通化により、授業改善策の情報交換の内容が充実してきている。 ②いじめ防止基本方針策定後の各学校いじめ防止の充実。	73,282
11	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	小中学校体育文化活動に要する経費			①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行った。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費軽減を図る。	5,092	4,071	6精査・検証	①豊かな人間性を育むために、体育文化活動で全国・関東大会等に出場した児童生徒の参加費等の助成を行った。 ②児童生徒の体育文化活動の向上を図るために、引き続き大会等の出場の経費軽減を図る。	5,233
12	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	学校運営に要する経費	○		①学校用務員の退職者が出た学校について、新たな人員配置に代わり、民間委託により人員補充を行う。 ②市職員の用務員が配置されている学校と業務内容に差違が生じないよう、学校および業者との調整が必要となる。	21,914	21,114	6精査・検証	①人件費の削減を図るため、継続的に行う事業であり、今後も民間委託を推進する必要があるため。 ②学校および委託業者と連携をとり、円滑な学校運営を図る。	22,299
13	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	情報教育に要する経費			①小中学校14校のコンピュータシステムの一括管理 ②コンピュータ・タブレットの有効活用への支援	114,483	113,885	6精査・検証	①校務支援ソフトの活用が定着し、校務の効率化が図れ、児童生徒に向き合う時間の確保に繋がっている。 ②校務システム及びICT学習の効果的運営の指導を行う。	114,574
14	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	少人数教育推進に要する経費	○		①市内小中学校に1名ずつ少人数教育指導教員(きりり先生)を配置し、きめ細かな学習指導を行う。 ②効果的な少人数指導については日々授業改善を図っていく必要がある。	24,525	23,693	6精査・検証	①学力向上のためにもきめ細やかな指導を行うことは重要で在り、効果的な実施がなされてはいるがさらに指導方法等について向上を図っていく必要があるため。 ②少人数指導の質の向上を図るため、市教育委員会指導訪問および要請訪問時に授業研究、協議会を実施し、きりり先生研修会を含め、効果的な実践について指導支援していく。	27,274
15	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	学校地域支援に要する経費			①市内小中学校に地域住民によるボランティアを募り、学校教育活動を支援していく。学校支援地域本部事業8校実施。 ②ボランティアの公募は、各学校で行っており十分な成果をあげている。教育支援コーディネータの育成。	4,976	5,093	6精査・検証	①学校支援地域本部事業は、現在8校で学校のボランティア活動が充実している。 ②学校支援地域本部事業の内容の更なる充実を図り、学校と地域ボランティアをつなぐコーディネーターを活用した事業に広げていく。	5,441
16	一般	10	1	3	132生きる力を育てる義務教育の充実	特別支援教育推進事業	○	○	①市内小中学校に1名ずつ(大規模校2名)ずつ特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)を配置し、通常学級に在籍する特別な支援を要する児童生徒に対してきめ細かな教育支援を行う。 ②対象となる児童生徒一人一人の多様なニーズに応じたきめ細やかな支援・指導のための時間の確保が課題である。	33,109	31,587	6精査・検証	①特別な支援を要する児童生徒の増加と個々の特性に応じた教育的ニーズの高まりにより、保護者の期待と信頼が大きいため。 ②特別支援教育推進指導教員(ほほえみ先生)の研修を年4回行う。また、市内全14校で心理発達相談員による巡回相談を実施し、専門的な指導・助言を行う。	34,779

NO	会計	款	項目	施策	事務事業名	担当課	主要 実施 対象	うち多 額の 経費 対象	①事務事業の概要 ②課題	29年度決 算額[千 円]	30年度決 算額[千 円]	総合評価	①評価の理由 ②令和元年度に取組む改革・改善内容	元年度予 算額[千 円]
17	一般	10	1	4	132生きる力を育てる 義務教育の充実	心身障がい児の教育に要する経費	学校教育課		①学級、学校での安全確保のため、介助員を配置する。保護者の経済的負担軽減のため必要な援助を行う。 ②対象となる児童生徒の増加傾向が続いており、介助員の数の確保と各学校・保護者との調整が課題である。	54,335	55,522	6精査・検証	①インクルーシブ教育システムの構築に向け、個々の多様なニーズに対して柔軟で適切な支援・対応が求められるため。 ②様々なケースに対応するうえで、合理的配慮による介助員の増員及び人材の確保、また施設面での充実にきめ細かに図る。	66,926
18	一般	10	2	2	132生きる力を育てる 義務教育の充実	要保護・準要保護に要する経費	学校教育課		①経済的に就学困難な児童生徒の保護者に対して就学援助を行う。 ②経済的困窮で就学困難な児童生徒が義務教育を受ける機会均等につながる。	45,851	42,920	6精査・検証	①義務教育の機会均等を図るため、継続的に行う事業であり、保護者への周知徹底を引き続き行う必要があるため。 ②令和元年度より、改正後の新たな認定基準にて審査を行う。	60,461